

令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名 外ヶ岡交流拠点施設
住所地 下田市外ヶ岡1番地の1
指定管理者
名称 一般社団法人 下田市観光協会
代表者 会長 渡辺一彦
住所 下田市外ヶ岡1番地の1
モニタリングの実施方針・方法等 本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実施調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握。
担当課(問合せ先) 観光交流課 TEL:0558-22-3913 E-mail:kankou@city.shimoda.lg.jp

■モニタリングの総合コメント 協定書、事業報告書に基づき適正に業務が履行されている。苦情にも早急に対応し、緊急時には管理者との連携もとれている。自主事業で収入が伸びているが、物価高騰の影響で人件費等が高騰しており、対策が必要。
■今後の業務改善に向けた考え方 収入においては当初予定より上回っているため、良い部分は継続し、悪い部分は改善していくことでさらに収入が増加する事を期待する。 支出においては物価高騰の影響、経年劣化による修繕の必要はあるが、支出を抑える策を管理者と検討する。

基本運営の基本コンセプト

下田市の持つ開国の歴史をはじめとする歴史的資源や自然、文化、豊富な特産物を活用した観光プロモーションを展開し、市内に人が回遊する施策を推進し、観光客の増加を図る。

施設管理・経営管理計画

気温の上昇で、水高熱の使用料が多くなっているが、施設不良が水光熱費に直結する場合があるので早期発見できるよう対応をする。修繕計画についても市と協議し、必要があれば計画の見直しを行う。

維持管理計画

施設の設置から20年以上経過しており、設備の不具合も生じているが、市と連携しながら迅速に対応。また、大規模修繕については計画を立て実施している。

特記事項

特になし

自主事業計画

各種イベントの実施、広報活動によって総売上、レジカウントも目標値より増加した。ウッドデッキの利活用や物販事業の「まるごと下田館」は好評であるため、今後も賑わい創出のための取組を継続していただきたい。

収支計画

収入についてはおおよそ予算額を達成しており収支もプラスになっている。しかし、一時使用料の達成率が悪いため、改善が必要。また、支出面も当初予定を上回っているため、今後も支出の抑制に向けた調整が必要。

その他

特になし

経営管理

適切な計画・運営がなされているが、人件費の増加、物価高騰の影響により、支出が増加傾向。

※ これらの項目は、指定管理者を選定する際の審査項目となっています。したがって、仕様書等で指定管理者に要求している水準を確保できたかについて、指定管理者が作成した事業計画書と、実際の事業内容を比較して、コメントを記載します。具体的には、前項までのチェックリスト等を活用して確認した内容を基に、コメントします。